

■ 発言要旨

No.	上段(質問等) / 下段(回答)
1	<p>6つの小学校が統合して窪川小の校舎を使用するとのことですが、校舎の容量は大丈夫でしょうか。 スクールバスですが、放課後居残りの補習があったりすると思うんですが、下校の便はどうなりますか。</p> <p>議会でも質問がありまして、場合によっては改築や増築を検討する必要があると思います。あるいは全部建替えることもあろうかと思えます。児童数からいえば、以前は400人ほどの児童がいた時期もありましたので大丈夫かとは思いますが、今はIT機器が入ってますので教室が狭いような状況になっております。ただ、子どもたちが狭い中でぎゅうぎゅうでということは避けたいと思います。</p> <p>スクールバスの件ですが、下校時刻が各学校で決まっています、窪川小では16:30だったかと思えます。その時刻に合わせてスクールバスも発車している状況です。16:30以降も補習等があった場合にどうかという質問であったと思いますが、現在はそのバスに乗って帰っていただいている状態です。</p> <p>小学校1年生は、年度当初は下校時刻が早いので、その時刻に合わせて1便、他の学年の下校時刻に合わせて1便ということで、下校便を2便出すときもありますが、基本的には、お子さんにあわせて、何便も下校便を出すということはありません。</p>
2	<p>この計画や他の計画等により、出身の保育所や小中高校が休園や休校となるかもしれません。寂しい気持ちは確かにありますが、時代の流れというか致し方ない部分があるのかなと思います。</p> <p>子どもは窪川小へ通っていて、結構大きな学校というのが自分の過去を振り返ってみるとあるのですが、なんとなくのイメージの規模でいえば、七里小くらいの規模がちょうど良い規模なのかなと思いますが、都会のマンモス学校の方から見れば、窪川小くらいがちょうどという想いもあるかもしれません。人それぞれ「ものさし」が違うので、そこが適正配置を進めるうえでの難しい部分ではないかと思えます。</p> <p>子どものことを一番に考えると一定の規模というのは自分自身は大事なことで、必要ではないかと思えます。</p> <p style="text-align: center;">-</p>
3	<p>以前、子どもが窪川小へ通学していました。平成15年度に入学して400人ほどの学校へ通っていたわけですが、その頃は卒業式に4・5・6年生しか出席していませんでした。体育館の規模であったり、いろいろなことがあって体育館に入れないというのが原因だとは思いますが。</p> <p>学校で教室が足りてなかったというイメージは全くありませんが、そういう状況で始まって、下の子どもが平成20年度くらいに入学したのですが、300数十人ほどであったと思います。その頃から、1～6年生まで卒業式に出るようになりました。縦割り班が始まりました。1～6年生まで一緒に掃除をしたり、運動会の行事で、その班で活動していたりしていました。400人くらいと300数十人くらいの差がそこで出てきているのかなと思いますが、窪川小はそここの規模があるとは思いますが、小規模校では窪川小では学べない何かを学んできたところもあると思います。</p> <p>窪川小の規模でも縦割り班ができていくことは良いことだと思います。</p> <p>人数的にそこそこいる方が、学校としてもやりやすいのかなと保護者として感じたことでした。</p> <p>学校の良さを引き継ぎながら、新しい学校をつくるイメージというところにもなってこようかと思いますが、小学校は令和3年5月の児童数をもって判断となります。統合となれば、児童同士の交流を進めていく、また保護者との交流も図りながら徐々に意見交換もしながら進めていかなければなりません。</p> <p>適正配置を進めていくうえでは、小規模校には小規模校の良さがありますが、完全複式であるとか、完全複式でなくても複式校も増えてきて、その中で12小学校のうち半分くらいが完全複式校になってきております。完全複式校では教員が4名、校長は学級に入らないので、残る3名で授業をしていかなければなりません。その中で、何か先生が病気であるとか研修等へ行った場合には、病気休暇の場合は1ヶ月以上になりますと代替教諭の配置がありますが、2～3日の病気休暇等では配置はありません。工夫しながら学校運営をしていただいているところです。</p>